



富士真奈美 (ふじ まなみ)

静岡県生まれ。1957年NHK専属俳優となり、「この瞳」の主演に抜擢されデビュー。俳優座付属養成所卒。個性と才気あふれる演技で高い評価を集める実力派俳優。代表作としてTV「細うで警感記」「ハゲタカ」、映画「初れられと三部」「小林多喜二」「ハッシュ」「たみおのしあわせ」、舞台「かもめ」「42ND STREET」など。小説に「恋よ、恋唄」「ろくでなし」、エッセイに「身ひとつの今が悽せ」「てのひらに落花」、句集に「龍の裏」と著書多数。2008年から「俳壇賞」選考委員をつとめている。



吉行和子 (よしゆき かずこ)

東京生まれ。父エッセイ、兄淳之介、妹理恵は作家。1960年「にあちゃん」「才女気質」の演技で毎日映画コンクール女優助演賞を受賞。「愛の亡霊」(1978、大島渚監督)で日本アカデミー賞優秀主演女優賞を受賞。「折り梅」(2002、松井久子監督)等で、毎日映画コンクール田中絹代賞を受賞したほか、最近では「佐賀のがばいばあちゃん」(2005、倉内久則監督)「おくりびと」(滝田洋二郎監督)に出演するなど現在も舞台やテレビに数多く出演し、高い評価を得ている。エッセイ集「ここまで演れる気がするの」(1984)で日本エッセイスト・クラブ賞を受賞。現在、「ひと語り」(文藝春秋刊)が好評発売中。



内田春菊 (うちだ しゅんぎく)

1959年8月7日生まれ。長崎県出身。1984年、四コママンガで漫画家デビュー。以来幅広いジャンルに支持される。93年、初めての小説「ファザー・ファッカー」を出版。直木賞候補となる。94年「私たちは繋がる」も「ファザー・ファッカー」の2作品で第4回Bunkamuraドワゴ文学賞を受賞。その一方で、女優としても映画、ドラマなど多数にわたって出演。昨年12月には、ソロ歌手としてCD「魔法復活」をリリース。活動の場を広げている。



宮崎瑠依 (みやざき りえ)

1983年東京都生まれ。タレント、キャスター。最近のTV出演にNHK総合「三つのだまご」(レギュラー・キャスター)、スカイパーフェクトTV「BREAK TV」(レギュラー)など多数。特技にフランス語。アメーバ!ブログ内(http://ameblo.jp/rie-miyazaki/)

宮崎瑠依の「毎日幸せ♥」配信中



星野高士 (ほしの たかし)

昭和27年8月17日、神奈川県生まれ。祖母星野立子に師事し、十代より作句。句集「破嵐矢」「谷戸」「無尽蔵」・著書「星野立子」(俳句創作百科 美・色)。共著「立子俳句365日」他。現在、「玉藻」副主宰・編集長。「ホットギネス」同人。鎌倉虚子立子記念館館長。日本伝統俳句協会会員。朝日カルチャー講師、日本文藝家協会会員。



片山由美子 (かたやま ゆみこ)

昭和27年千葉県生まれ。「狩」副主宰。第5回俳句研究賞・俳人協会評論賞を受賞。4冊の句集のほか、評論集・エッセイ集などの著書がある。「NHK俳句」選者。俳句総合誌「俳句」に「伝えたい季節 変化する歳時記」連載中。



ねじめ正一 (ねじめ しょういち)

東京都生まれ。直木賞作家で、過激で派手なパフォーマンスでも知られる。阿佐ヶ谷・パルム商店街で民芸店「ねじめ民芸店」を営む。平成元年「高円寺純情商店街」で第101回直木賞、日氏賞、毎日ぶら絵本賞受賞。他、「あーちゃん ねじめ正一詩集」「ねじめの歯ざり」など代表作多数。2008年「荒地の恋」で中央公論文芸賞を受賞。



高橋春男 (たかはし はるお)

東京都八王子市生まれの漫画家。「週刊文春」連載の4コマ漫画「いゆるひとのチョーさん主義」など、総合誌での連載が主であり、有名な顔似顔絵による1コマあるいは数コマのカットと、社会風刺コラムを合わせた作風を確立している。1984年、「チョーさん主義」で第30回文藝春秋漫画賞を受賞。漫画家のかわいしよと氏らとバンド「セコハン・ヘッド」を結成。ライブ活動も行っている。



大場鬼奴多 (おおば きぬた)

1953年栃木県生まれ。早稲田大学卒業後サラリーマン生活を経て、現在、芭蕉ゆかりの東京・関口芭蕉庵を拠点に芭蕉の検証研究にあたる。1996年より俳人・佐藤東房に師事。自然と人間との交流の中から、自由な発想で歌ひ五七五をめぐす。「小熊座」同人、国際俳句交流協会会員。



エモン・オビト (えもん おびと)

1972年東京都生まれ。スタディスト、カラーコーディネーター。スーツスタイルをメインとするコーディネート得意とする。アメーバ!ブログ内(http://ameblo.jp/soma-style/「スタイル by soma」配信中)



鎌倉みどり (かまくら みどり)

高知県高知市出身(2007年〜 高知県観光大使)。鹿児島放送アナウンサーよりフリーアナウンサーになり、現在多数のテレビ・ラジオでMC、キャスターを務める。



石 寒太 (いし かんた)

1943年静岡県生まれ。1969年俳誌「寒雷」に入会、加藤楸郎に俳句を学ぶ。現在、俳誌「炭環」主宰。「俳句なあるふあ」編集長。毎日文化センター・朝日カルチャーセンター・NHK俳句教室講師。日本文藝家協会・近世文学会・俳句文学会・現代俳句協会会員。著書に「潮」「生還す」、評論・随筆に「山頭火」「芭蕉の晩年力一求めない生き方」など多数。